令和３年３月20日　2021年　第41号

そでがうらがくえん

いずみ

袖ケ浦学園

CONTENTS

クリスマス食事会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
ご寄附のお礼 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
各班紹介・グループホーム　絆 ・・・・・・・・・・・・・・・3～5
職員コラム ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
新入職員・入所者の紹介 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
編集後記 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

クリスマス食事会

今年もクリスマスの時期がやってきました。12 月 25 日（金）、新型コロナウイルス感染予防のため、各階ごとに分かれて二部制での食事会となりましたが、利用者の皆さまに楽しんでいただけるよう職員一丸となって開催しました。

まずはクリスマス余暇活動をおこない、それから皆さまお待ちかねの食事会にうつりました。チキンやチーズインハンバーグ、エビフライ、オムライス、フルーツなど豪華なクリスマスパーティー仕様のお弁当の他、クラムチャウダーとデザートも用意させていただきました。皆さま笑顔で美味しそうにお召し上がりになり、楽しい時間を過ごされたと思います。

その後、お待ちかね第二弾はクリスマスプレゼントの贈呈です。今年も職員がサンタやトナカイに扮して、皆さまにプレゼントをお渡ししました。ケーキやクッキーをほおばりながら、早くプレゼントを開けたいと満面の笑みでお話しされていた利用者様から、幸せのお裾分けをいただいた気分になりました。

今年は新型コロナウイルス感染予防により、残念ながら、全体での開催や外部の方による催物はありませんでした。来年度は、今年以上に利用者の皆さまが楽しく過ごすことができるよう挑戦していきたいと思います。

吉田　将人

ご寄附のお礼

鎌ケ谷市社会福祉協議会様

歳末たすけあい募金として 20,000 円を助成していただき、
それでスノーマンを 3 体購入させていただきました。
ありがとうございました。

日産化学株式会社様、日本燐酸株式会社様および労働組合様

「グループホーム　絆」に「非常用発電機」を寄附していただきました。
ありがとうございました。

日産物流株式会社様

袖ケ浦学園に「ワイヤレスアンプ」、「会議用テーブル 5 台」、「ポータブル発電機」を寄附していただきました。ありがとうございました。

各班紹介　Ｇメン班　　お腹いっぱい！な食事会

この１年、新型コロナウイルス感染予防のために帰省や外出ができない状況が続いています。Ｇメン班の利用者の皆さまは、日頃のストレスを解消できない日々が続いているにも関わらず、日中活動をまじめに取り組まれていました。その努力に職員一同なんとか報いたいと思い、今回の食事は予算をぎりぎりまで使用して、学園生活ではなかなか食べられないステーキやハンバーグ、唐揚げなどが入った高カロリーなお弁当とデザート、カップ麺、スナック菓子などを購入しました。Ｇメン班の利用者の皆さまは大変喜ばれ、思う存分味わっていらっしゃいました。

新型コロナウイルス感染予防が落ち着き、学園の外出許可が出たら、Ｇメン班の利用者の皆さまが楽しめる様な企画をまたいろいろと考えていきたいと思います。　　赤間　大介

各班紹介　チャレンジ班　　もっと食べたい食事会

２月 16 日（火）、チャレンジ班で食事会をおこないました。本来であれば、チャレンジ班は年に２回の外出をおこなっていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染予防のためどこにも行くことができませんでした。

今回の食事会は外出の代わりにはなりませんが、せめて利用者の皆さまに楽しんでいただこうという趣向で催しました。メニューは、ほっともっとの焼肉弁当と、コンビニのデザート２種類を用意しました。少し量が多かったのではないかと思いましたが、利用者の皆さまはほぼ全員が完食されました。年に ２ 回しかない食事会ですので、もっと量が多くても良かったのではないか反省しています。

来年度は、新型コロナウイルス感染予防も落ち着き、普通に外出や食事が出来るようになれば良いなと思います。　　和田　浩平

各班紹介　ステップ班　　肉弁当の食事会

2 月 18 日（木）、袖ケ浦学園の作業室でステップ班の食事会をおこないました。今回の食事会では、開けた瞬間にお肉が目に飛び込んでくるボリュームあるお弁当を用意しました。お一人ずつお弁当のショットを撮りましたが、ピースサインや笑顔を向けてくださる方がいる一方で、お弁当に夢中のあまりカメラ目線をいただけなかった利用者様もいらっしゃいました。

今回は新型コロナウイルス感染予防のため、学園内での食事会となってしまいましたが、外に出て非日常の空間で食事を楽しめる日が来ることを心待ちにしております。　　佐々木　朋美

各班紹介　にっこり班　　暖かくなってきました

今年の冬は例年よりも暖かいようです。例年はもう少し寒いような気がしますが。とくに２月に入ってからは気温も一気にあがり、外での活動もおこなえるようになってきました。私も利用者の皆さまと一緒に、外で日光浴をしたり身体を動かしたりすることで、心身共にリフレッシュしているように感じます。

今年度は新型コロナウイルス感染予防により、外出等ができず、食事会をはじめとした屋内での行事のみとなりました。来年度は少しでも以前のような生活に戻ることができ、行事や外出が再開されることを願っています。感染予防は引き続き、しっかりとおこなっていきたいと思います。

笹生　哲司

各班紹介　ほほえみ班　　コロナとマスクとほほえみ班

今年度も残りわずかになりました。新型コロナウイルス感染予防のため、外出はできなかったので、晴天の日は外の空気を吸い気分転換をして過ごしています。最近は暖かいので、そろそろ利用者の皆さまと共に春の花や昆虫を見つけに行きたいと思いますが、時折まだ寒い日もあり、体調を崩さないように充分気をつけています。

そのような日々ですが、ほほえみ班の皆さまは毎日元気でいらっしゃいます。毎年誰かしらがインフルエンザにかかっていましたが、今年度は誰一人かかりませんでした。新型コロナウイルス感染予防が効いているのでしょう。早くマスクなしで出かけられる日がくることを楽しみにしています。

増田　麻里子

グループホーム　絆　　コロナ禍での土日の過ごし方

グループホーム絆では、平日は袖ケ浦学園へ通所し、土日は余暇の時間を使ってドライブ等をして過ごしていました。しかし新型コロナウイルス感染予防のため、外出制限があるので、現在は室内でのみ生活しております。

最近は、健康面のことを考えて、エアロバイクやバランスボール等、余暇の時間を利用して少しでも身体を動かしてもらえるように支援をおこなっています。新型コロナウイルスが終息したあかつきには、日頃のストレス発散となるように車でまた外出したいと思います。

栗田　進

職員コラム　　クセになる炎のゆらぎ効果

4 年前に書いたコラムで、「投げ釣り」について記載しましたが、近年は、前日の夜から釣り場に入り、当日の早朝から釣りを始める目的で、キャンプを始めました。その中でとくに愛してやまないのが「焚き火」です。

近年、ノルウェーの国営放送局が、12 時間連続で暖炉で薪が燃える映像を流し、話題なりました。ただ火が燃えているだけなのに、視聴率は 20%を記録したそうです。最近のキャンプブームの影響もあり、動画サイトにもただ薪が燃えるだけというものがずいぶん増えています。

そんな炎のゆらぎがもたらす心地よさやリラックス効果を「1/f ゆらぎ」といいます。身近なものだと海の波や雨音、木漏れ日、川の流れなどもこれに該当します。どれも規則的に動いたり留まったりしているなかに、予測できない不規則なゆらぎがあり、それが調和した状態が「1/f ゆらぎ」です。人間自体もゆらいでいることがわかっていて、外からのゆらぎを得ると共鳴し、自立神経が整えられ、精神が安定するそうです。焚き火の前では、言い争いや取っ組み合いのケンカが起きないこともうなずけます。

最近はさらに焚き火好きが高じて「薪活」を始め、自ら薪を作っています。針葉樹、広葉樹ともにございます。ご用命の際は、お気軽にお声がけください。　　高野　啓介

職員コラム　　コロナ禍の休日の過ごし方

皆さまは休日をどうお過ごしでしょうか？このご時世、外出を控え、友人や親戚にもなかなか会えず、ストレスがたまる一方なのではないかと思います。しかし、私は良い機会なのではないかと考えるようにしてみました。

本来アウトドア派の私ですが、普段家では出来なかったことや、しなかったことを積極的におこなうようにしました。例えば、読書に多くの時間を使うことによって、様々な発見や勉強、知る機会が増えたように思います。今までの自分自身を見つめ直し、現在の自分が立っている場所、そこから見える風景、その先の将来の自分を客観的に捉えられるようになったのかなと感じることもあります。 コロナ禍による新たな発見でした。

佐藤　太一

新入職員紹介

袖ケ浦学園　三戸（みと）　裕美子（ゆみこ）　生活支援員

利用者の皆さまとお出かけできる日が今から楽しみです。共に楽しめることを模索していきたいです。よろしくお願いいたします。

袖ケ浦学園　松井（まつい）　久人（ひさと）　生活支援員

まだまだわからないことばかりですが、早く利用者の皆さまと仲良く過ごせるように頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

入所者の紹介

グループホーム　絆　　Ｎさん

令和２年９月から一緒にグループホーム絆で生活する仲間が一人増えました。通所先から帰宅した後は新聞（とくに歴史の記事）を読んだりラジオを聴いたりなさっていらっしゃいます。休日は大河ドラマが楽しみなご様子です。少しずつ絆での生活に慣れていってくだされればと思います。

【編集後記】

暖かな春を迎えるより一足先に、袖ケ浦学園では新しい仲間を迎え、新しい風を感じることができています。新型コロナウイルスの影響で、ワクワクできるイベントが少ない中、利用者の皆さまにとってはいい刺激になっていると思います。ワクチンの接種が始まったというニュースが流れ始めた当初は、利用者様や職員の間で私たちはいつ接種できるのかといったことが話題になりました。外出や密になる行事の制限はまだ当分続きますが、感染症対策をおこないながらも、皆さまに少しでも楽しんで過ごしていただけるよう、職員一同励んで参ります。　　佐々木　朋美

［広報担当職員］ 吉田（美）・笹生・佐々木

社会福祉法人いずみ会

〒299-0205 千葉県袖ケ浦市上泉 1767-21　URL：http://izumi-kai.com

障害者支援施設　袖ケ浦学園　☎0438-75-4585　izumikai@vanilla.ocn.ne.jp

相談支援センター　晴（ハル）　☎0438-97-5118　haru-soudan@kind.ocn.ne.jp

グループホーム　絆（キズナ）　〒299-0236 千葉県袖ケ浦市横田字北上堰 124-1

☎0438-97-7815　kizuna7815@orion.ocn.ne.jp

@sodegaku